

FUJITEC

第65期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日



香港の"政府総合庁舎本部ビル"では、エレベータとエスカレータ計83台が活躍しています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第65期第2四半期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の連結業績の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期の世界経済は、中国やインドにおいて、内需を中心に高い成長率を維持しました。しかし、その他のアジア地域では、景気拡大が鈍化し、また欧米では景気の減速が鮮明になるなど、総じて緩やかな回復にとどまりました。日本経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから、サプライチェーンの復旧に伴い、持ち直しているものの、海外の景気減速や円高の影響などで、厳しい状況が続きました。

昇降機業界におきましては、中国市場で集合住宅向けを中心に需要が堅調に拡大しましたが、北米や欧州の建設市場は回復に至りませんでした。日本では、震災後、一部に需要回復の兆しがあるものの、総じて低調に推移しました。

このような情勢の下、国内市場では、既設のエレベーター・エスカレータを最新のシステムやデザインに刷新を図るモダニゼーション事業が順調に拡大する一方、新設事業ではエレベーター・エスカレータの需要が低調なことから、新設工事の受注が減少しました。

これにより、国内受注高は234億67百万円（前年同期比2.0%減）となりました。一方、世界市場では、中国や南アジアで新設工事が増加したことから、海外受注高は290億25百万円（同8.3%増）となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の受注高合計は、524億92百万円（同3.4%増）となりました。

売上高は、国内売上高221億39百万円（同4.1%減）、海外売

上高265億77百万円(同0.3%増)となり、487億17百万円(同1.8%減)となりました。

損益面では、日本で増益の一方、北米や東アジアでの減益により、営業利益は20億85百万円(同8.7%減)、経常利益は20億66百万円(同11.5%減)となりました。

特別損益の純額は、88百万円の利益となりましたが、四半期純利益は税金費用が前年同期比4億3百万円増加した結果、10億31百万円(同9.2%減)となりました。

当期の中間配当金につきましては、当期の業績を踏まえ、1株当たり5円とさせていただきます。



当社では本年、中期経営計画“One Goal, One Fujitec”第2年度として、最終年度となります2013年3月期の経営目標を必達すべく、全社全部門挙げて重点課題の達成に取り組んでおります。

そのために、中国を核とするグローバル事業戦略の強力な展開、堅調な需要の続くモダニゼーション事業の拡大、さらに“安全・安心”を追求した商品とサービスの提供をこれからも推進してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

代表取締役社長 内山 高一

主な活動概況

日本 Japan

東京では、複合機能都市「六本木ヒルズ」に隣接する“六本木ヒルズ クロスポイント”が完成しました。オフィス、商業施設、住宅から成る複合施設にはエレベータ4台が活躍し、新たな玄関口となっています。同じく東京では、図書館や生涯学習施設などを備えた“武蔵野プレイス”がオープン。建物のモチーフに合わせ、アール型にデザインされたエレベータ乗場ドアが大変好評です。



六本木ヒルズ クロスポイント(東京)



本町南ガーデンシティ(大阪)

大阪では、ビジネスエリアの中心に建つ高級オフィスビル“本町南ガーデンシティ”が完成しました。地上26階建の同ビルには、超高速機種を含むエレベータ12台が活躍しています。同じく大阪では、“御堂筋本町アーバンビル”も完成し、洗練された

エレベータ4台が納められています。

このほか沖縄では、那覇新都心地区に“那覇新都心センタービル”が完成。ホテル、オフィス、商業施設から成る同ビルには、先進の群管理システムで制御された最新機種を含むエレベータ7台を納入しました。

一方、主な受注としては、東京の「六本木21森ビル」と「六本木25森ビル」を高層オフィスビル1棟に建て替える“21・25森ビル建替計画”向けに、エレベータとエスカレータ計21台を納めます。

このほか、リニューアル工事として、“東京都庁第二本庁舎”向けにエスカレータ6台を受注しています。

■ 北南米 *North & South America*

米国では、ニューヨークの中心部・マンハッタンに、現在、超高層複合ビル“グラニット・ブロードウェイ”が建設されています。地上66階建の同ビルは、オフィス、商業施設に加え、639室を有する一流ホテル「マリオット・ホテル」が入居するものです。

ここには、分速420mの超高速機種を含むエレベータ13台を受注しており、ニューヨークでも有数の超高層ビルとなります。

カナダでは、バンクーバーに建つ高級ホテルとコンドミニアムの複合ビル“シャングリ・ラ ホテル バンクーバー”



シャングリ・ラ ホテル バンクーバー
(カナダ)

にエレベータ13台が活躍しているのを始め、カルガリーの最先端オフィスビル“ジェミーソン・プレイス”にはエレベータとエスカレータ計19台を納めています。



ジェミーソン・プレイス(カナダ)

またアルゼンチンでは、首都ブエノスアイレスに建つ高級オフィスビル“マデーロ・オフィス”にエレベータ20台が活躍しているのに続き、このほど超高層オフィスビル“ベルグラノー・オフィス”向けに、エレベータ14台を受注しました。

■ 東アジア *East Asia*

香港では、香港島側ビジネス街に隣接する超一等地に建設されていた“政府総合庁舎本部ビル”が完成しました。4.2ヘクタールの広大な敷地には、「オーブドア」を表現したアーチ型の総合庁舎を始め、立法会議事堂、オフィス棟から成り、香港の新たなシンボルとなっています。ここには、分速360mの超高速機種を含むエレベータとエスカレータ計83台が活躍しています。



政府総合庁舎本部ビル(香港)

同じく香港では、セントラル地区に建設中のモダンな外観のホテル“アイビス・ホンコン・シオンワン”向けにエレベータ11台、“香港理工大学”の拡張工事に伴う新校舎向けにエレベータとエスカレータ計24台を受注しました。

中国では、広東省深圳に建つ超高層ビル“深圳諾徳金融センター”が完成しました。地上38階建の同ビルには、最新の群管理システムで制御されたエレベータ

18台が活躍しています。同じく中国では、昨年受注した“北京地下鉄10号線”のエスカレータ据付工事が開始する一方、“南京地下鉄1号線・2号線”では98台のエスカレータと動く歩道が活躍中です。

このほか台湾では、台北市の中心部に建つ老舗デパート“明曜デパート”において、大規模なリニューアル工事が行われました。店内の改装と合わせ、展望用機種を含むエレベータとエスカレータ計26台も一新し、性能・デザインが格段に向上しました。



深圳諾徳金融センター(中国)

■ 南アジア *South Asia*

シンガポールでは、国民の8割が住んでいると言われるHDB(シンガポール住宅開発庁)の高層住宅向けに、約800台のエレベータを大量一括受注し、順次、据付工事を行っています。HDBからは、これまで新設向けとリニューアル向けを合わせ、エレベータの受注累計台数は約20,000台に達しています。

同じくシンガポールでは、ユニバーサル・スタジオやホテルなどから成る一大リゾート施設“リゾート・ワールド・セントーサ”に、エレベータとエスカレータ計182台を納めているほか、新たなビジネス

ス拠点となる“ビジネス・ハブ・イシュー”向けにエレベータ11台を受注しています。マレーシアでは、同国南部の大規模開発計画「イスカンダル・マレーシア」の推進に合わせ、国際ホテル“トレーダース・ホテル・イスカンダル”が建設されています。屋内テーマパークやレストランを備えた同ホテル向けに、エレベータとエスカレータ計40台を受注しました。



リゾート・ワールド・セントーサ(シンガポール)

■ 欧州・中東 *Europe & Middle East*

アラブ首長国連邦のドバイでは、中東初の全自動無人運転システムを導入した新交通システム“ドバイ・メトロ レッド・ライン”が開業しました。



ドバイ・メトロ レッド・ライン(UAE)

ドバイ国際空港と、南部の自由貿易地区を結ぶ全長52kmに及ぶもので、主要幹線道路をまたいで設置された歩道橋に、動く歩道92台が活躍しています。サウジアラビアでは、第二の都市・ジェッダにおいて、“キング・

アブドゥルアジーズ大学”向けに、エレベータ74台のリニューアル工事を受注し、据付中です。

同校は、サウジアラビアで女子教育の草分けとなる女子学生部を備えた大学として知られています。

業界最小のトラス幅を実現！ 省エネ・省スペース型 エスカレータを発売

省エネ・省スペース型エスカレータ
Slimfit
スリムフィット

これまでスペースに制約のある駅舎や、十分な床面積を確保したい商業施設などにおいて、エスカレータの設置が困難でした。フジテックは、エスカレータの構造部分となるトラスの幅を業界最小とした、画期的な新型エスカレータ〈スリムフィット〉を開発し、今年8月から販売を開始しました。

人が乗るステップ幅は従来機種と同じとしながらも、トラス幅を削減し、業界最小サイズとなる1300mmを実現しました。

また、エスカレータの水平方向の長さとなる梁間寸法の更なる削減、トラス深さもより浅くすることで、これまでスペースに制約が多かった場所への設置が容易になりました。

〈スリムフィット〉は省スペース性に優れるばかりか、ライト部分にLED光源を採用することで、従来の蛍光灯式に比べ、照明の消費電力量は60%カットすることができ、大幅な省エネルギー化も実現します。

さらに、靴や衣服の巻き込みを防ぐ「ドレスガード」や、乗降口で足元を照らす「コムライト」もご用意し、安全性を一段と高めています。

フジテックでは、標準型エスカレータに加え、新たに〈スリムフィット〉をラインアップすることで、更なるシェア拡大を目指します。



省エネ・省スペース型エスカレータ
〈スリムフィット〉

技能の向上と安全意識の徹底を図る 「全国技能競技大会」を開催！

いかに最先端技術を結集したエレベータやエスカレータであっても、現場で完璧に組み立て、入念な調整をして初めて、お客様に引き渡す商品となります。

フジテックでは、現場で据付・改修を行うフィールド部門の更なる技能向上を図るため、今年9月27、28日の2日間にわたり、大阪府茨木市にあるフィールド拠点“ビッグフィット”にて、「全国技能競技大会」を開催しました。

全国から選抜された28人が出場。筆記、電気技能、溶接技能、点検技能、検査技能、据付技能、足場技能に加え、お客様との施工計画の打ち合わせが適切にできるかという「面談」に至るまで、8種類の競技種目に挑みました。

今回は、日ごろの業務で培った成果を存分に発揮することで、お互いのスキルアップにつながったばかりでなく、安全意識の徹底、さらに次世代を担う後輩への技術指導面においても、大変有意義なものとなりました。

フジテックでは、パーフェクトな商品を納入し、お客様から高い評価と信頼をいただくため、人材の育成強化に努めています。これからも、フィールド技術に更に磨きをかけ、利用者の皆様に、確かな“安全・安心”をご提供していきます。



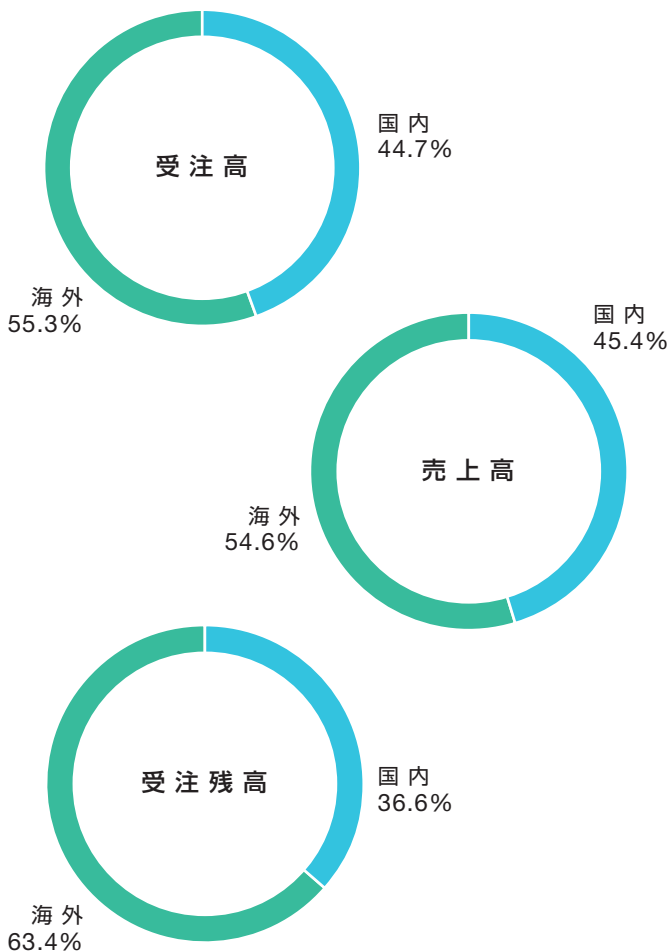
エレベータ据付技能の競技に挑む出場者

連結業績の概要 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

営業の状況

| | | | 受注高 | 売上高 | 受注残高 |
|----|-----|--|--------|--------|---------|
| 国内 | 百万円 | | 23,467 | 22,139 | 36,895 |
| 海外 | 百万円 | | 29,025 | 26,577 | 64,029 |
| 合計 | 百万円 | | 52,492 | 48,717 | 100,925 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。



Financial Results

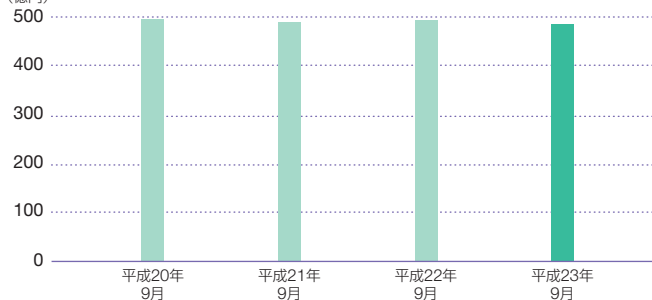
業績の推移

| | | 当第2四半期 平成23年9月 | 前第2四半期 平成22年9月 | 前期 平成23年3月 |
|-------------------------|-----|-------------------|-------------------|---------------|
| 売上高 | 百万円 | 48,717 | 49,585 | 102,053 |
| 営業利益 | 百万円 | 2,085 | 2,284 | 5,221 |
| 経常利益 | 百万円 | 2,066 | 2,334 | 5,447 |
| 四半期純利益 または当期純利益 | 百万円 | 1,031 | 1,135 | 7,569 |
| 1株当たり四半期純利益 または当期純利益 | 円 | 11.02 | 12.14 | 80.89 |
| 総資産 | 百万円 | 107,807 | 100,299 | 104,817 |
| 純資産 | 百万円 | 67,495 | 62,652 | 67,161 |
| 1株当たり純資産 | 円 | 673.18 | 624.78 | 671.24 |
| 研究開発費 | 百万円 | 810 | 713 | 1,840 |
| 設備投資 | 百万円 | 664 | 828 | 1,665 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

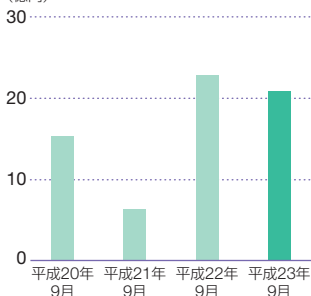
売上高

(億円)



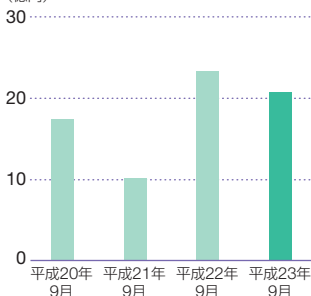
営業利益

(億円)



経常利益

(億円)



■ 連結貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|-----------------|----------------|--------------------|-----------------|
| | 金額(百万円) | | 金額(百万円) |
| 流動資産 | 63,996 | 流動負債 | 33,824 |
| 現金及び預金 | 25,806 | 支払手形及び買掛金 | 12,279 |
| 受取手形及び売掛金 | 23,995 | 短期借入金 | 417 |
| 商品及び製品 | 2,968 | 1年内返済予定の長期借入金 | 2,312 |
| 仕掛品 | 2,114 | 未払法人税等 | 683 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,774 | 賞与引当金 | 1,501 |
| その他 | 3,919 | 工事損失引当金 | 2,475 |
| 貸倒引当金 | △ 582 | その他の引当金 | 319 |
| | | 前受金 | 9,580 |
| | | その他 | 4,255 |
| 固定資産 | 43,811 | 固定負債 | 6,487 |
| 有形固定資産 | 29,157 | 長期借入金 | 1,493 |
| 建物及び構築物 | 18,328 | 退職給付引当金 | 4,738 |
| 機械装置及び運搬具 | 2,250 | その他 | 255 |
| 工具、器具及び備品 | 1,396 | 負債合計 | 40,312 |
| 土地 | 6,814 | | |
| リース資産 | 11 | 純資産の部 | 金額(百万円) |
| 建設仮勘定 | 356 | 株主資本 | 83,090 |
| 無形固定資産 | 2,671 | 資本金 | 12,533 |
| のれん | 750 | 資本剰余金 | 14,565 |
| その他 | 1,920 | 利益剰余金 | 56,120 |
| 投資その他の資産 | 11,982 | 自己株式 | △ 129 |
| 投資有価証券 | 3,958 | その他の包括利益累計額 | △ 20,100 |
| 長期貸付金 | 1,917 | その他有価証券評価差額金 | 230 |
| その他 | 6,248 | 為替換算調整勘定 | △ 20,331 |
| 貸倒引当金 | △ 142 | 少数株主持分 | 4,505 |
| 資産合計 | 107,807 | 純資産合計 | 67,495 |
| | | 負債・純資産合計 | 107,807 |

(注) 1. 当第2四半期の連結子会社は、17社であり、持分法適用会社はありません。
2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Financial Results

■ 連結損益計算書

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

金額(百万円)

| | |
|-----------------|--------|
| 売上高 | 48,717 |
| 売上原価 | 39,050 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,580 |
| 営業利益 | 2,085 |
| 営業外収益 | 291 |
| 営業外費用 | 310 |
| 経常利益 | 2,066 |
| 特別利益 | 169 |
| 特別損失 | 80 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,155 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 557 |
| 法人税等調整額 | 140 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,457 |
| 少数株主利益 | 425 |
| 四半期純利益 | 1,031 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

金額(百万円)

| | |
|---------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 7,339 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 960 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,571 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 65 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 5,794 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,223 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,018 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 会社の概況

設 立 昭和23年2月9日

資 本 金 125億3,393万円 (平成23年9月30日現在)

■ フジテック・グループ

| | | | |
|------|----------|--------------------------------|------------------|
| 日 本 | 本 社 | 滋賀県彦根市 ビッグウイング | TEL(0749)30-7111 |
| | 東京本社 | 東京都港区三田3丁目9-6 | TEL(03)4330-8200 |
| 北 米 | アメリカ | FUJITEC AMERICA, INC. | |
| | カナダ | FUJITEC CANADA, INC. | |
| | グアム | FUJITEC PACIFIC, INC. | |
| 南 米 | ベネズエラ | FUJITEC VENEZUELA C.A. | |
| | アルゼンチン | FUJITEC ARGENTINA S.A. | |
| | ウルグアイ | FUJITEC URUGUAY S.A. | |
| 欧 州 | ドイツ | FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH | |
| | イギリス | FUJITEC UK LTD. | |
| 中 東 | サウジアラビア | FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD. | |
| | エジプト | FUJITEC EGYPT CO., LTD. | |
| | アラブ首長国連邦 | FUJITEC UAE | |
| 南アジア | シンガポール | FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD. | |
| | フィリピン | FUJITEC, INC. | |
| | マレーシア | FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD. | |
| | インドネシア | P.T. FUJITEC INDONESIA | |
| | インド | FUJITEC INDIA PRIVATE LTD. | |
| | ベトナム | FUJITEC VIETNAM CO., LTD. | |
| 東アジア | ホンコン | FUJITEC (HK) CO., LTD. | |
| | 台湾 | 富士達股份有限公司 | |
| | コリア | FUJITEC KOREA CO., LTD. | |
| | 中 国 | 華昇富士達電梯有限公司 | |
| | | 上海華昇富士達扶梯有限公司 | |
| | | 上海富士達電梯研發有限公司 | |
| | | 富士達電梯配件(上海)有限公司 | |

役員

取締役

| | | | |
|----------|--------|-----|-------|
| 代表取締役社長 | 内山 高一 | 取締役 | 西垣 博志 |
| 代表取締役副社長 | 関口 岩太郎 | 取締役 | 花川 泰雄 |
| 取締役 | 野木 正彦 | 取締役 | 稲葉 和夫 |
| 取締役 | 北川 由雄 | | |

監査役

| | | | |
|-------|-------|-----|-------|
| 常勤監査役 | 松原 敏之 | 監査役 | 佐伯 照道 |
| 監査役 | 中野 正信 | | |

執行役員

| | | | |
|---------|---------|------|--------|
| 執行役員社長 | 内山 高一* | 執行役員 | 梶田 順司 |
| 執行役員副社長 | 関口 岩太郎* | 執行役員 | 井上 治男 |
| 専務執行役員 | 野木 正彦* | 執行役員 | 多川 正弘 |
| 専務執行役員 | 北川 由雄* | 執行役員 | 原田 政佳 |
| 常務執行役員 | 津山 圭二 | 執行役員 | 内山 泰行 |
| 常務執行役員 | 岡田 隆夫 | 執行役員 | 筒井 邦彦 |
| 常務執行役員 | 面口 久信 | 執行役員 | 坂本 晴彦 |
| 常務執行役員 | 奥田 勝次 | 執行役員 | 加藤 義一 |
| | | 執行役員 | 宇都宮 靖雄 |

*は兼務しています。

株式の状況

| | |
|----------|-----------------|
| 発行済株式の総数 | 93,767,317株 |
| 株主数 | 3,659名 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所、大阪証券取引所 |

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 1. シティグループ グローバル マーケッツ インク ーセキュリティーズ セーフキーピング アカウント418 | 13,752 | 14.69 |
| 2. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル | 10,025 | 10.71 |
| 3. 富士電機株式会社 | 5,089 | 5.43 |
| 4. クレディット スイス アーゲー チューリッヒ | 4,758 | 5.08 |
| 5. 株式会社りそな銀行 | 4,203 | 4.49 |
| 6. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,551 | 3.79 |
| 7. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 3,133 | 3.34 |
| 8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,345 | 2.50 |
| 9. メロンバンク トリーティー クライアンツ オムニバス | 2,198 | 2.34 |
| 10. 株式会社みずほコーポレート銀行 | 1,989 | 2.12 |

(注) 持株比率は平成23年9月30日現在の発行済株式総数である93,767,317株から自己株式196,220株を除いた93,571,097株を基準に計算しています。

株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当受領 毎年3月31日
株主確定日 なお、中間配当の株主確定日は9月30日

公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告に
よることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に
掲載することといたします。
ホームページアドレス：<http://www.fujitec.co.jp/koukoku/>

株主名簿 東京都港区芝3丁目33-1
管理人 中央三井信託銀行株式会社

同事務 〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目2-21
取扱場所 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
(電話照会先) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および
全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

単元株式数 1,000株

● 住所変更、単元未満株式の買取り等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

● 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

フジテック株式会社

www.fujitec.com